



第2回 暮らし・^{なりわい}生業再建本部会議

日時：令和元年12月20日（金）
14時45分から15時45分
（第37回災害対策本部員会議終了後）
場所：西庁舎301号室

1 本部長あいさつ

2 チームリーダーからの報告

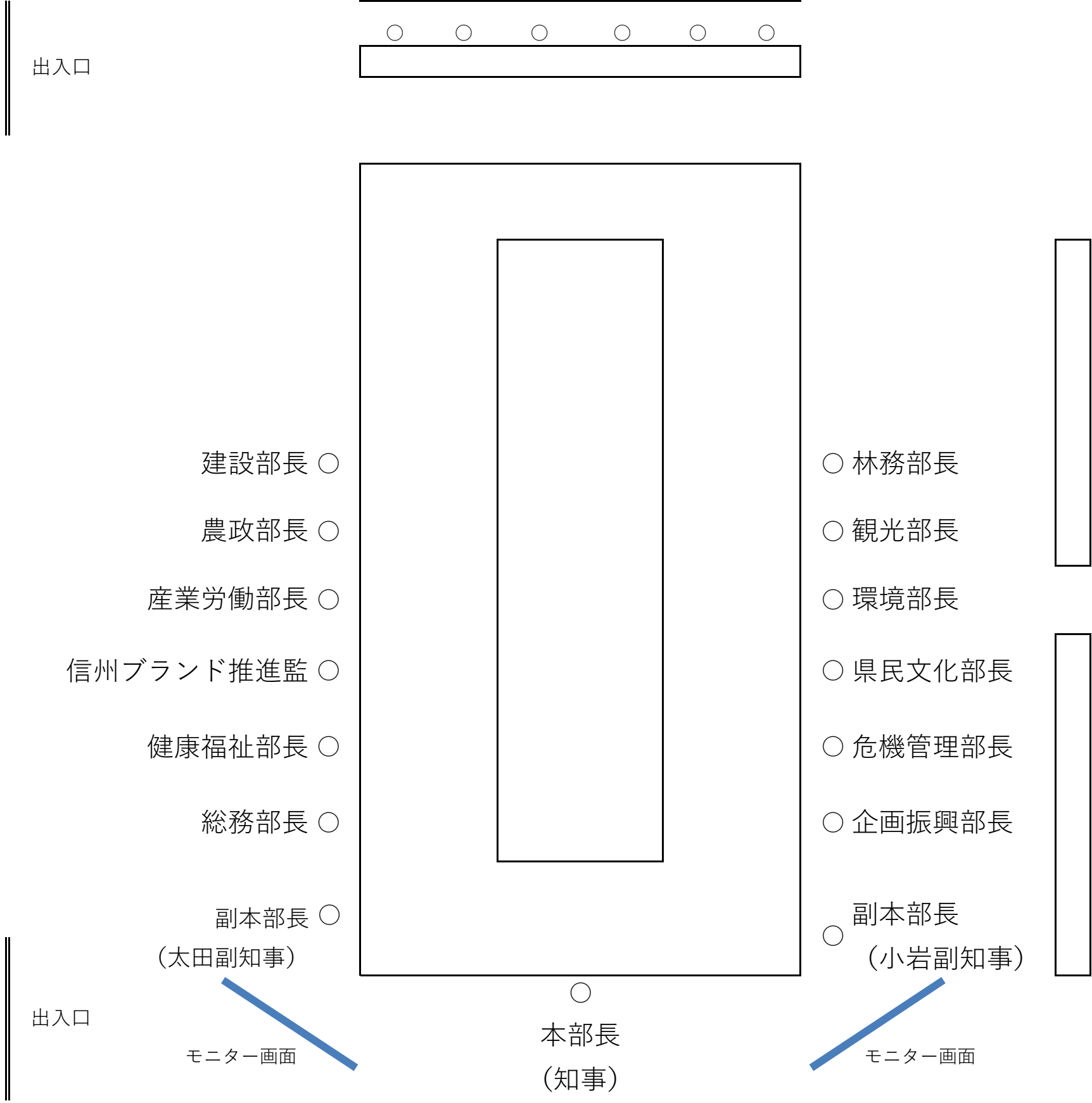
3 地域振興局からの報告

4 その他

なりわい

第2回 暮らし・生業再建本部会議 席図

日時 令和元年12月20日(金)
14時45分から15時45分まで(※)
場所 県庁西庁舎301号室
※「第37回 災害対策本部員会議」に引き続き開催



令和元年 12 月 20 日

暮らしの支援について

1 ニーズの把握と対応状況について

市町村を順次訪問し、被災者の暮らしの支援に係る課題や対応状況を把握中。

〔訪問市町村〕 長野市、須坂市、千曲市、中野市、飯山市、小布施町、佐久市、佐久穂町

○被災者の状況把握と対応状況

（保健師等による状況把握と対応）

- ・発災直後から、保健師等を中心に被災区域の世帯の戸別訪問を通じて、健康状態や福祉ニーズの把握を行っている。
- ・把握したニーズに対しては、保健師の継続訪問を行っているほか、高齢者に関しては地域包括支援センター、生活困窮についてはまいさぼ、障がい者の支援については担当課等に繋ぐなどそれぞれ対応している。

（サロンを活用した状況把握）

- ・社協、JAなどが開設している地区ごとのサロンに保健師や民生・児童委員が参加して、住民の状況把握や情報交換をしている地域がある。

（今後の対応等）

- ・今後、保健師等による再度の戸別訪問の実施や、「ささえあいセンター」の設置、住民アンケートの実施等を通じて、引き続き、支援ニーズの把握、顕在化していない課題等の掘り起しを行う予定。
- ・被災者の支援に係る喫緊の取組としては、義援金の早期配分に向けて急ピッチで作業を進めているところ。

○被災者の支援に係る情報の発信、確実な周知に関する取組状況

- ・郵送による周知、自治会を通じた周知を基本としている。要配慮者や未申請者に対しては戸別訪問して周知、電話等により申請漏れを防ぐよう対応している。

○課題、県に対する要望

- ・当面の住まいを他の市町村に移している方について、支援漏れがないよう対応するにあたり、市町村間の広域的な連携について県の支援を求めたい。
- ・今後、被災者のニーズの変化や、再度の被災者訪問等を通じて顕在化するニーズに応じて、県に支援を求めていきたい。
- ・避難所での対応等、今回の災害対応について、振り返りを考えているので、県と情報共有しながら進めたい。

2 暮らしの支援に係る取組状況について

(1) 「長野県生活支援・地域ささえあいセンター」の設置について

- ・12月18日 設置（県社会福祉協議会に運営委託）
- ・相談支援員を2名配置し、市町村センターからの相談対応やアドバイザーの派遣等を通じて市町村の取組を支援する。

<市町村の取組状況>

長野市 12月19日 設置

- ・相談員を15名配置し、仮設住宅等を巡回訪問等を行う。

他の市町村 飯山市 設置検討中

(2) 被災者のための総合相談会の開催について

生活再建に向けた様々な不安・悩みや被災に伴う精神的なストレスを抱える被災者の方を対象に、精神科医、弁護士などの専門家が、ワンストップで対応する相談会を県と市町村が共同開催。

<開催結果の概要>

12月7日（土）12:00～16:00 佐久穂町生涯学習館「花の郷・茂来館」 相談2名2件

12月15日（日）12:00～16:00 飯山市保健センター 相談3名6件

（主な相談内容）

- ・被災家屋の修繕費用や就労、体調に関すること。

<今後の開催予定>

1月25日（土）12:00～16:00 須坂市日野地域公民館

1月26日（日）12:00～16:00 長野市犀南保健センター

(3) 「からだ」と「こころ」の健康相談

被災された方やそのご家族、また被災者を支援する方などを対象とする健康全般及びこころの健康に関する相談窓口を保健福祉事務所（保健所）、精神保健福祉センターに設置。

(4) 生活就労支援センターまいさぼにおける相談支援の状況について

- ・発災直後は、り災証明書の発行に関する問い合わせや避難所等の管理者から複合的課題がある方への支援要請があったが、生活困窮など新規相談者が増加している状況にはない。
- ・市町村、「ささえあいセンター」等と連携して対応していく。

(5) 離職を余儀なくされた方等への就職支援について

求職者の状況を伺い職業相談に対応するとともに、ハローワークの求人情報により本人の希望に合った仕事を紹介

- ・11月1日から地域振興局（佐久、上田、長野、北信）に窓口設置

(6) 災害時被災ペット相談支援センターの対応状況について

- ・相談支援センター、動物愛護センター、保健所への相談件数（速報値、12/19まで）

対象者	件数	内 容
被災者	104	動物を預けたい、フード支援等
支援者	313	被災動物の一次預かり希望、寄付・物資の支援希望等
その他	48	徘徊動物情報、友人が被災し要援助、情報収集等

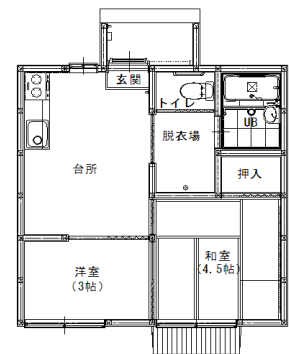
- ・被災した動物及びその飼養者に対する寄付金を募集中
寄付金受付状況 1,396,918円（12/16まで）
- ・被災地におけるペット相談会の開催（11/27 長野市 相談4件、物資支援10件）

1 住宅再建されるまでの『応急的な住まい』の確保 <12月16日時点>

(1) 応急的な住まい 入居決定戸数 ()内は供給可能戸数：外数、借上型のみ：被災地許可ベース

	公営住宅・職員宿舎【原則1年間】		応急仮設住宅【最大2年間】		計
	県営住宅等	市営住宅等	借上型	建設型※	
長野市	63 (41)	60 (66)	520	71 (44)	714 (151)
長野市以外	20 (90)	75 (195)	30		125 (285)
合計	83 (131)	135 (261)	550	71 (44)	839 (436)

※建設型応急住宅（随時募集中、見学可）：エアコン・給湯器・照明・コンロ等の設備完備、ペット同伴可



例：木造 2DKタイプ

(2) 今後の取組

- ① 在宅避難者・親戚宅等の不在宅避難者の状況把握及び必要に応じ「応急的な住まい」の斡旋
 [課題等]・在宅避難者の中には、「2階居住の高齢者等」・「自炊ができない」・「入浴できない」・「ペットと暮らしたい」・「寒い」等、生活に不便を感じている被災者あり
 ・今後の再建方針が未定の被災者あり

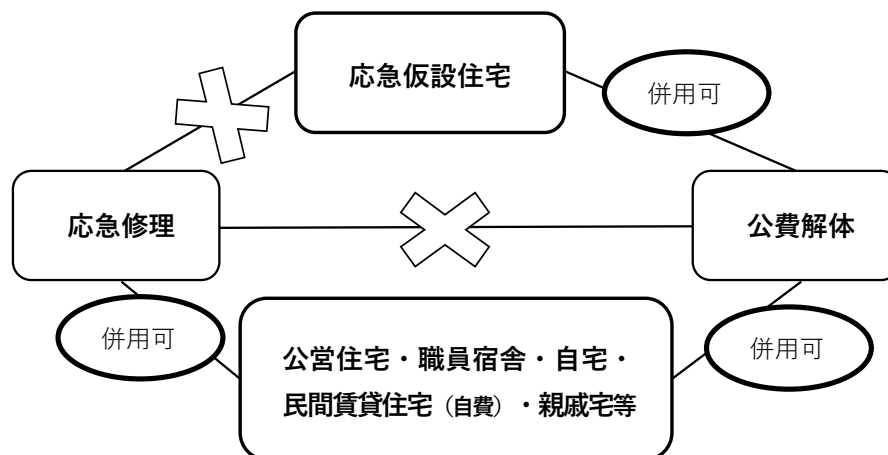
主な在宅理由：自宅志向、ペット、引越し大変、トイレ・ボイラー設備改修済で居住可 等

- [対応]・被災者の状況に応じて「応急的な住まい」の斡旋（建設型応急仮設住宅等）
 ・被災住宅を離れ、親戚宅等への避難者に、『お住いの支援チラシ』のDM送付

② 住宅関係の支援制度の併用について

[課題等]・支援制度が多くあり、被災者の認知が進んでいない

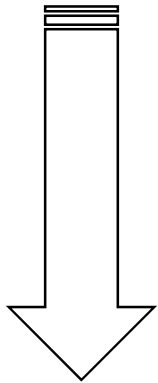
[対応]・被災者及び建築関係業者等への周知を図る（市町村、建築関係団体へ依頼済）



※『被災者生活再建支援制度等による支援金』との併用はいずれの制度も可能

2 被災された住宅の復興・復旧支援 ～『応急的な住まい』から『恒久的な住宅』への支援～

被災者による住宅再建手法の検討が必要



- ① **本格的な復旧に向けての『住まいの総合相談』**（現地調査、相談会等）
- ・相談場所：被災住宅現場での相談、会場による面談相談、電話相談等
 - ・相談内容：住宅の安全性、応急修理や復旧方法、修繕業者の選定方法 等
- [実施状況：～12/15時点 67件]

- ② **被災者への住宅再建の意向調査（予定）**

《恒久的な住宅》（例）

自宅の建替・購入

被災住宅 補修

民間賃貸住宅（自費）

公営住宅（住替え）

【住宅再建支援】

(1) 応急修理

- 被災した住宅の居室、台所、トイレ等日常生活に必要な部分の応急的な修繕
[実施状況：12月16日時点]

	申込件数	依頼件数	完了件数
長野市	940	473	110
長野市以外	522	267	79
合計	1,462	740	189

(2) 災害復興住宅建設事業補助金

- 被災した住宅の建設・補修等を支援するため、災害復興住宅融資（貸付）等の情報発信を行うとともに、必要な資金の借入れに対して **利子相当額**※（建設・購入は10年分、補修は5年分）を助成
※利子相当額の上限：住宅金融支援機構の災害復興住宅融資の利子相当額（令和元年12月現在 0.36%）

(3) 住宅を再建する際の建築確認等の申請手数料の減免

- 建築確認申請等、長期優良住宅建築等計画認定申請※、低炭素建築物新築等計画認定申請※
※被災建築物が当該計画認定を受けている場合に限る

(4) 環境配慮型住宅助成金の被災者枠※の確保 ※R2年度以降は今後の検討

- リフォームタイプ：既存住宅を改修し、断熱性能を向上させる工事費の一部を助成
・令和元年度債務負担分募集：被災者枠 約25件、募集期間 R1.12.2～R2.3.13

(5) 公費解体

- 市町村が所有者に代わって被災家屋を解体・撤去（半壊以上）
※対象範囲は市町村毎に定める。

台風第 19 号豪雨災害に係る 「長野県産業復興支援センター」について (グループ補助金等申請受付窓口)

産業復興支援室

1 趣旨

台風第 19 号豪雨災害に係る被災した中小企業者等の復旧、復興を支援するため、令和元年12月 18 日から「長野県産業復興支援センター」を開所。

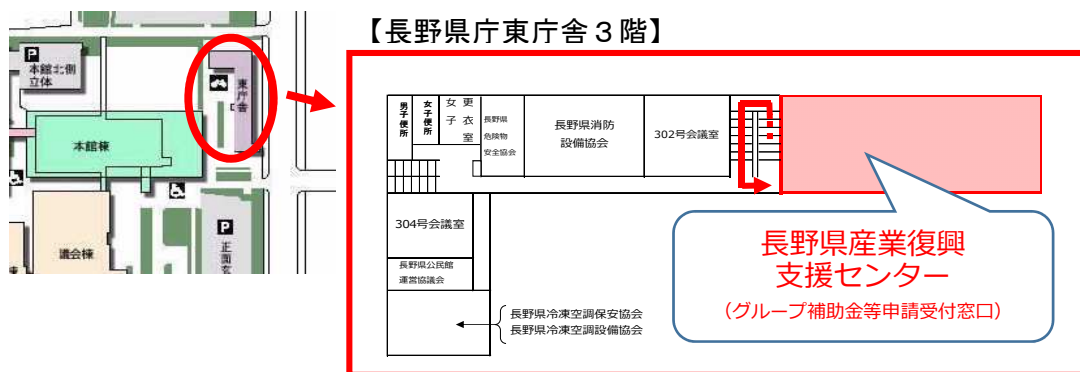
[運営: 産業復興支援室及び公益財団法人中小企業振興センター(窓口業務委託先)]

2 業務内容

- 台風 19 号豪雨災害に係る以下の補助金の相談及び申請の受付
 - ・長野県中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業(グループ補助金)
 - ・長野県地域企業再建支援事業(自治体連携型補助金)
- 上記補助金以外の支援策(融資制度等)の相談の受付

3 場所

県庁東庁舎 3 階 (〒380-8570 長野市大字南長野字幅下 692-2)



4 相談・申請受付日/時間

【相談・予約連絡先 026-235-7325】

受付日	令和元年 12 月 18 日(水)から 30 日(月)まで <u>毎日</u>
	令和 2 年 1 月 6 日(月)以降の <u>平日</u>
受付時間	午前 9 時から午後 4 時まで ※原則、事前予約で対応 ※開所日(12 月 18 日(水))のみ午前 10 時から受付開始



(開所式の様子)



(相談の様子)

被災事業者向け説明会・相談会の開催状況一覧

資料3-2

12月19日
産業復興支援室

<国事業の説明会の開催状況>

開催日	場 所	対 象	参加者 (単位:人)	備考
11月8日	県庁講堂	商工団体、 市町村、 現地機関等	113	産業立地・経営支援課
11月12日	上田商工会議所	被災中小企業等	70	上田地域振興局
11月13日	県佐久合同庁舎		57	佐久地域振興局
11月13日	長野商工会議所		174	長野地域振興局
11月13日	飯山商工会議所		57	北信地域振興局
小 計				471

<県事業の説明会等の開催状況>

開催日	場 所	対 象	参加者				備考
			説明会		個別相談		
			(単位:人)	(単位:社)	(単位:人)	(単位:社)	
11月28日	県庁講堂	商工団体、 市町村、 現地機関等	159	-	/	/	産業立地・経営支援課
12月5日	県佐久合同庁舎	被災中小企業等	79	64	38	31	佐久地域振興局
12月9日	県長野保健福祉事務所 県長野合同庁舎		285	203	146	109	長野地域振興局
12月10日	県北信合同庁舎		104	74	50	44	北信地域振興局
12月11日	千曲市役所		122	101	51	40	長野地域振興局
12月13日	上田商工会議所		40	32	21	13	上田地域振興局
小 計				789	474	306	237

<他の説明会等>

開催日	主催者	対 象	説明会等		備考
			(単位:人)	(単位:社)	
12月2日	J A 長野中央会	J A 単組(16) J A 全農長野 J A 長野中央会	70	-	
12月4日	関東税理士会長野支部	会員	250	-	
12月6日	市北部工業団地自治会	市北部工業団地 事業者	40	-	
12月6日	県中小企業団体中央会	中央会職員	30	-	
12月12日	県中小企業団体中央会	会員被災企業	80	-	
12月12日	信州中野商工会議所	会員企業	3	2	
12月16日	観光庁	県旅館ホテル 組合会会員	66	-	
12月16日	長野市商工会	豊野支所管轄被 災事業者	102	87	
12月16日	東御市商工会	市内の被災事 業者	8	4	
12月17日	長野商工会議所	会議所所管の小 規模事業者	164	126	
12月18日	軽井沢町商工会	町内の被災事 業者	13	8	
12月18日	佐久商工会議所	市内の被災事 業者	10	8	

12月19日	小布施町・小布施町商工会	町内の被災事業者			
12月19日	飯山商工会議所	市内の被災事業者			
12月19日	長野市商工会(豊野支所)	市内の被災事業者			
12月20日	産業立地・経営支援課	県内の金融機関			
12月24日	千曲市・千曲商工会議所 ・戸倉上山田商工会	市内の被災事業者			
12月24日	長野市商工会(豊野支所)	市内の被災事業者			
12月25日	山ノ内町商工会	町内の被災事業者			
12月24日	信州中野商工会議所	組合員			
12月26日	長野市商工会(豊野支所)	市内の被災事業者			
小計			836	235	
合計			2,096	709	

農業復興チーム 報告事項

1 地域のニーズの把握状況と対応状況

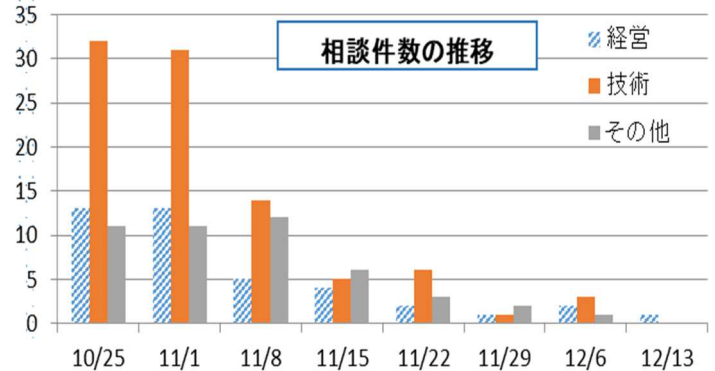
(1) 被災された農家等の相談窓口の設置

ア 設置場所 各地域農業改良普及センター及び農業技術課

イ 相談件数等 (10 月 18 日～12 月 13 日)

区分	経営	技術	その他	合計
件数 (件)	41	92	46	179

(来所・電話による相談)



ウ 相談内容と対応状況の主な事例

区分	相談内容	対応状況
経営	農業機械や生産施設等への支援策や補助率を教えてほしい	支援策の概要説明、詳細について市町村への問合せを伝達
	運転資金の相談をしたい	J A と訪問して相談対応
技術	堆積土砂の影響や排土の方法	農業技術課作成資料に基づき説明
	農作物の消毒や処理の方法	土壌診断、適正な農薬散布や処理を指導
その他	傷ついたリンゴの加工先を紹介してほしい	加工工場を紹介

(2) 農業改良普及センター職員の巡回訪問による被災農家等のニーズ把握

- 農業改良普及センター職員が被災農家等を巡回訪問し、被災状況の確認や今後の経営再建への相談など、これまで 31 件の相談等に対応

(3) 災害復旧事業による早期復旧に向けた市町村に対する技術支援

- 被災状況・被害額の調査、復旧工法の検討、河川協議等について、地域振興局及び県庁の農地整備課職員（延べ約 700 人）が技術支援を実施しており、12 月 2 日から 1 月 17 日までの予定で災害査定を実施中
- 査定前着工制度を活用し、来春の作付けに間に合わせるため、堆積した土砂の撤去や農業用水路等の復旧工事の着手を支援

(4) 農業ボランティアの活動状況等について

- 長野市では 11 月 18 日から 12 月 14 日まで、長沼地区の農地に堆積したゴミや果樹の根周りの排土等を実施し、堤内地での作業が概ね完了したため、第 1 期の活動を終了
- 中野市では、11 月 30 日～12 月 8 日、小布施町では 11 月 23 日、須坂市では 12 月 15 日にそれぞれ農業ボランティアを受け入れ、堤外地の農地のゴミ等の撤去を実施

	長野市 (11/18～12/14)	中野市 (11/30～12/8)	須坂市 (12/15)	小布施町 (11/23)	計
参加人数	約 6,400 人	約 700 人	約 600 人	約 800 人	約 8,500 人
県からの技術支援	87 人	25 人	9 人	18 人	139 人

2 現時点において取組を進めていく上での課題と今後の取組

(1) 農地（水田、果樹園等）

課 題	<ul style="list-style-type: none"> 被災した農地（流失等）を来春の作付けまでに復旧すること 果樹園の排土における土捨て場の確保
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> 災害復旧事業を活用して、復旧工事を進める 市から J A へ作業委託を行い、連携して早期撤去を進める 堆積土を公共工事の盛土、河川内洗堀箇所の埋め戻し等に活用 長野市の堤外地について、県建設業協会との調整を踏まえ、市外の建設業者 10 社と連携し、農道の土砂等の撤去から進める 来春までの土砂撤去等が困難な場合は、土砂の堆積状況等を踏まえ、農業改良普及センターが J A と連携して防除作業の方法等を検討する

(2) 農業用施設（取水施設、排水機場、水路等）

課 題	<ul style="list-style-type: none"> 被災した農業用施設を来春の作付けまでに復旧すること 排水機場の機能強化
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> 災害復旧事業を活用して、復旧工事を進める 復旧に期間を要する場合は、仮設水路等により用水を確保する 来春までの農業用水の確保が困難な場合は、農業改良普及センターが J A 等と連携し、代替作物の選定や栽培技術指導など農家を支援する 再度災害防止のため、排水機場の浸水防止対策を計画 取水施設等の復旧に係る河川管理者との協議にあたり市町村を支援

(3) 農業用機械（スピードスプレーヤ等）

課 題	<ul style="list-style-type: none"> 来春の作付けまでに農業用機械を修繕・再取得すること
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> 被害状況の把握と支援事業を活用した修繕・再取得を進める 支援事業の要望調査を実施中 機械メーカーの対応状況を把握（代車の提供等の対応を検討）

(4) その他

課 題	<ul style="list-style-type: none"> 農業保険制度（果樹共済、収入保険制度など）への加入促進 復旧工事の発注、計画変更手続等における農業土木技術職員の不足（農地・農業用施設）
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> 保険加入が要件化された補助事業対象者を始め、市町村や農業関係団体等と連携し、農業保険制度の周知及び加入促進を図る 被災箇所が多い地域振興局に復旧支援職員を増員配置するなど、工事の早期発注、河川協議等の技術的支援を行う

令和元年 12 月 20 日

「がんばろう信州！」推進チームの取組について

1 趣 旨

台風 19 号災害の影響で落ち込んだ観光需要の喚起に向け、旅行・宿泊料金の割引やプロモーションの展開、交通事業者やメディア等と連携した観光・物産情報の発信を行うほか、地域協働事業などを通じて、観光や地域の活力の向上を支援します。

2 役割分担と活動状況

項 目	担当班	主 な 活 動 状 況
総合的な観光・地域活性化に関すること	総括班 (観光部山岳高原観光課)	<ul style="list-style-type: none"> ○県組織向けの協力依頼 イベントなどで、横断幕やノベルティ、シールなどの活用を呼び掛け ○市町村及び関係企業向けへの協力依頼 観光キャンペーンへの協力依頼と「ONE NAGANO」の紹介 依頼先：信州キャンペーン実行委員会（八十二銀行、アルピコ交通、中日本高速道路、しなの鉄道、FDA など 133 団体）、連携協定先企業・学校（36 団体）、長野県観光機構会員、県人会会員などを検討中 ○ボランティアへの協力依頼 ボランティア参加の御礼とあわせ、観光も情報発信（市町村社協のボランティアセンターに協力をお願いし、メールによる発信）
	キャンペーン班 「がんばろう信州！観光キャンペーン」の取組 (観光部観光誘客課、国際観光推進室、企画振興部地域振興課、県民文化部県民協働課等)	<ul style="list-style-type: none"> ○「ふっこう割」を活用した旅行商品の発売開始（12/17） ○県内外でのプロモーション開始 <ul style="list-style-type: none"> ・ JR 上野駅復興マルシェ (11/28, 29) ・ 長野駅復興マルシェ (12/14, 15) ・ 都庁と連携した観光・物産イベント など ○「観光振興に向けた地域協働事業」 申込件数 44 件（県下全域から申込あり） ○「Go NAGANO」にキャンペーン特設ページを開設 「ふっこう割」「冬の宿泊キャンペーン」の活用や「ONE NAGANO」の情報を発信

項目	担当班	主な活動状況
	物産振興班 (営業局販売流通促進担当)	【観光×物産】 ○首都圏でのリンゴの販売と義援金募集 ・無印良品銀座 りんご販売と義援金募集(11/9-12/8) ・銀座 NAGANO 知事のりんご販売と義援金募集(11/20) ・ビストロ SARU 信州フェアと義援金募集(11/25-12/30) ・赤坂アークヒルズ土曜マルシェりんご販売(11/28) ・相鉄ローゼン(55店) 応援りんご販売(11/27-12/10) ○都庁と連携した観光・物産イベント ・都庁職員食堂での県産品メニュー提供(12/16-20) ・豊洲市場おいしい土曜マルシェ(1/18) ・ふるさと祭り「魅力発見！全国ご当地マラソン」 ・東京マラソン祭りなど
情報発信に関する こと	情報発信班 (観光部観光誘客課、営業局メディアブランド発信担当)	【観光×物産×情報発信】 ○ テレビ、ラジオ、新聞、雑誌による発信 ・産経新聞(東日本版)で「がんばろう信州！アルクマだより」の連載(12/20開始、計6回) ・首都圏のメディアのネットワークと連携した首都圏及び全国での情報発信 ・銀座NAGANOでの復興支援の呼びかけと観光誘客を目的としたイベントの実施

3 今後の取組予定

- ・ 「観光振興に向けた地域協働事業」による取組を長野県観光機構や被災市町村、地域の観光地域づくり法人(DMO)などと連携し取り組み、県内の復興への足掛かりとし、地域の活力創出を目指します。
- ・ 観光キャンペーンを活用し、義援金やボランティアなど本県に支援をいただいた関係企業やボランティアの皆様に、感謝をお伝えしつつ、本県にお越しいただくきっかけづくりを行います。
- ・ 長野県PRキャラクター「アルクマ」が復旧・復興にご協力いただいた都道府県や企業等を訪問し、「感謝の気持ち」と「元気になった長野県」をお伝えに伺います。

令和元年度台風第 19 号災害 県内の主な観光地の現況 (12/18 現在)

「がんばろう信州！」推進チーム

【北信】

長野市

- ・ 10月の観光客は大幅に減。一旦中止とした善光寺などでのイルミネーションイベントの実施(2/22~3/1)を決定。

戸倉上山田温泉(千曲市)

- ・ 年末年始の宿泊への影響は少ない。忘新年会等の宴会の自粛傾向あり。文化会館等が使用できないことによるイベントの中止あり。

山ノ内町

- ・ ボランティア等の特別料金の宿泊及び日帰り温泉実施(渋・湯田中温泉)

【東信】

上田市

- ・ 上田、鹿教湯、別所が一緒になって、元気を出そう！という趣旨でイベントを計画。地元向け復興イベント(1/25)、首都圏PRイベント(2/9大宮、2/22~23たまプラーザ)

別所温泉(上田市)

- ・ 11月に入り客足は戻りつつあるも、昨年より減。12月~3月に宿泊料金割引などの「再興縁起湯旅」を実施。善光寺の灯明まつりにあわせて別所でもライトアップを実施予定。

軽井沢

- ・ 冬季のイベントは予定どおり実施。

【中信】

木曾町

- ・ 権兵衛トンネルの通行止で、伊那・諏訪方面からの来客に影響。伊那方面からの特別バス運行や、冬季イベントの告知強化を予定。
- ・ 権兵衛トンネル通行止めによる、来年度の旅行商品造成(天龍舟下り&御岳RW&赤沢の周遊商品)に不安の声あり、通行再開後の正確な情報提供に向けて準備中。

松本市、乗鞍高原

- ・ あずさ運転再開後、11月は持ち直してきている。あずさ開通お出迎えパーティーの実施(10/28)、首都圏へのPRキャラバンの実施(11/13)。

北アルプス地域

- ・ 一部のスキー場がオープン。冬場の誘客PR強化を検討。来春のアルペンルート、芸術祭の誘客強化を検討。キャンペーンを従来より早期(2月初旬)に着手予定。

【南信】

諏訪地域

忘新年会をはじめとする冬季の県内需要の落ち込みを懸念。県内客の誘客営業策検討。東京で地域のPR活動実施(12/6)。(旅行販売・ふっこう割の活用)

南信州地域

例年に比べ予約低調。スキー場での義援金箱設置と観光PRを計画中。